

## 開学式と市内見学と

2019年3月8日(金) 天気、晴れ。

最高気温は12度位で暖かい。ただし、午前中は風もあった。

学期最初の週が終わり、今日は1時限目の授業で終了。そのまま図書館の隣にある講堂に皆で移動。国際教育学院の開講式に臨む。挨拶など、お偉方の中国語は分からない。しかし、無駄でないと思ったのは、前の学期までに中国語を学習し、成果が上がった先輩学生が何人か登壇し、流ちょうな中国語で学習体験を語ってくれたこと。中には、アフリカ出身者も。これらも中身を理解するのは困難だが、こんなに話せるようになったという体験を聞くのは、我々にも刺激になった。



**第二学期開学典礼式の集合写真 遼寧師範大学のホームページから 中央辺りに私も**

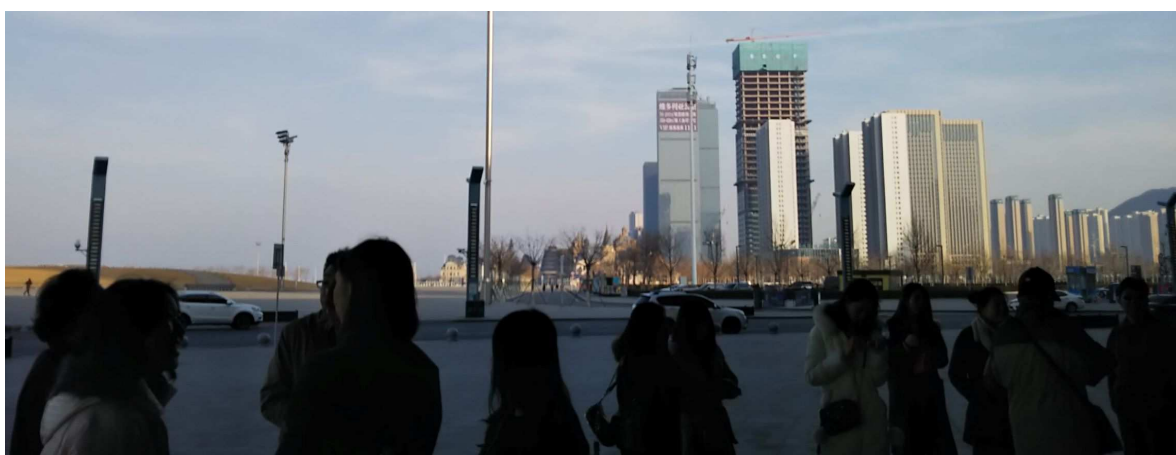
図書館と講堂の間には、大きな広場があって、南側に何段か降りる幅広な階段があった。そこに百名はいそうな新入りの学生たちが集合。何人かの教員と共に集合写真をとった。このみんなで写るという行為、中国人はとても好きなのだそうで、後から横長の大きな写真が皆に配られた。これで午前中は終了。昼は家で、日本から持参したインスタントラーメンを電子レンジで調理して済ました。

午後は、学校主催の市内見学に出かけた。1時に校舎前に再び集合。30分遅れのバスで出発。隣の席には、福岡から来た学生、韓君が座る。何でも日本で育ったため、あまり中国語は上手でない。中国人の親から留学を勧められ、この地へ来たとか。何故か宿舎は私が住む寄宿舎でも、近在の下宿でもなく、地下鉄で一駅都心寄りの「大連交通大学」に近い、交通大学の宿舎なのだとか。居心地の良い宿舎なのだそうで、親のコネを使って入居していると話していた。

そうこうしていると、バスは大連市政府の広大な芝生の広場の一角に最近オープンした「大連市の企画展示センター」に到着。大きな建物で、展示は発展する大連市の今を紹介する大きなパネルと写真、地図と立体模型が順路のかしこに据えてあった。成長する中国を象徴する展示だった。市の北西にある金州湾の沖合に建設中の新空港島の紹介など、さぞかしこの市にとって重要な新規のプロジェクトなのだろう。

次に向かったのは、都心の東寄り、大連湾の海に面した『東方ベニス城』と呼ばれる、イタリアのヴェネスをイメージした街並み。最近中国に多い、西洋の建物のそっくりさんを集めた施設で、必ずしもヴェネスのイメージだけとは限らない。しかし、ビルの外観は古典的なデザイン。そのビルの中に、エメラルド色の運河が東西に延びている所は、ヴェネスの偽物という印象だった。ここから 1 km 近く西へと、これもモダンで独特な外観の国際会議センターの周辺まで歩くことになった。

その頃には自然と、金晨星と並んで会話していた。晨星は、韓国の半導体メーカーに勤めていて、そこからの派遣だそう。何で英語ができるのかと聞くと、カナダに長く住んでいたからと言う。人生の半分がトロントでの生活だったとか。ソウルに戻って来て就職したものの、どうも腰が落ち着かず、社内の留学生募集に応募してこちらに来たとか。時々会社の出張で、中国の企業に出向くことがあり、少しは中国語を知る立場でもあった。なるほど、学びに来る十分な理由があった。と同時に、付き合っていた男性と距離を置きたかったらしい。それは、その後に分かって行く。



**国際会議中心までたどり着いた学生達。中央奥の『東方ヴェニス城』は遥かかなたとなった。**

それにしても、晨星と一緒にいた金珉珠と韓美延とがこの時、見学に参加していなかった。なぜだろう？ この後、参加学生全員が大連ダヴォス会議 2019 ※1が開催される国際会議中心の建物に入り、今日の見学はここで終了。晨星が電話で怪訝な顔をして話しているのは誰だろう？いささか気になる場面だった。

そこで再び、韓君と一緒にになった。帰りもこの青年と相席で、金曜の渋滞する市内の道を通って大学へと戻る。韓君は自称「軍事オタク」だそうで、港街大連では軍艦の動向に関心があると言う。港をかすめる高架道路から、空母「遼寧」※2の一画が見えた大喜び。そう甲板の片方が戦闘機の離陸用に反りあがっている航空母艦を、遠目に見ることができた。

キャンパスに戻った時は、陽が傾いた時間になっていた。

※1 大連ダヴォス会議とは、毎年冬の1月にスイスのスキーリゾート、ダヴォスで開催される「世界経済フォーラム」主催の会議の中国版。6,7月にここ大連市と天津市とで一年おきに交互に開催される一連の会議。中国では李克強首相など要人の参加もあった。

※2 空母「遼寧」は、海洋進出を始める中国が最初に所有した航空母艦。所有と言うのは、元はソ連時代のロシアで建造に着手された空母「ワリヤーグ」であり、その後ウクライナから中国が未完成のまま購入したという経緯があったから。